

若年性認知症支援コーディネーターの声

症状の変化に応じて本人の意向に沿った支援を心がけています。

就労環境の見直しや、次の新たなスタートに向け、本人や家族、企業のみなさんに寄り添ったサポートをします。迷ったらまずご相談ください。

「若年性認知症支援コーディネーター」とは「若年性認知症支援」専門の相談員です。若年性認知症の人の就労支援、家族・勤務先の状況に応じて、同行支援等、支援活動を行います。



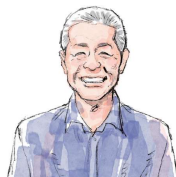
若年性認知症支援
コーディネーター

静岡県希望大使の声

認知症になってできないことはあるけれど、できることもたくさんあります。

私も周囲に迷惑を掛けたくないという思いが当時はありました。一歩踏み出して会社に話をすることで気持ちが楽になり、会社の仲間の理解も得られ、働き続けることができました。

「希望大使」とは認知症への社会の理解を深め、認知症の有無に関わらず、同じ社会の一員として地域とともに創っていくために、認知症の本人の想いや体験を発信する活動を行う人です。



静岡県希望大使
三浦繁雄さん

若年性認知症支援コーディネーターへ相談する場合は、**若年性認知症相談窓口**へご連絡ください！

相談
窓口 TEL :054-252-9881
FAX :054-252-0016

相談
日時 週3日(月・水・金) 9時~16時
※祝日及び年末年始は除きます。

こちらから
メールにて
ご相談
できます。

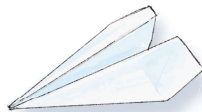


E-mail: shizuokacsw@yr.tnc.ne.jp

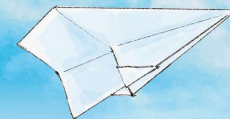
[受託者]

一般社団法人静岡県社会福祉士会
若年性認知症相談窓口

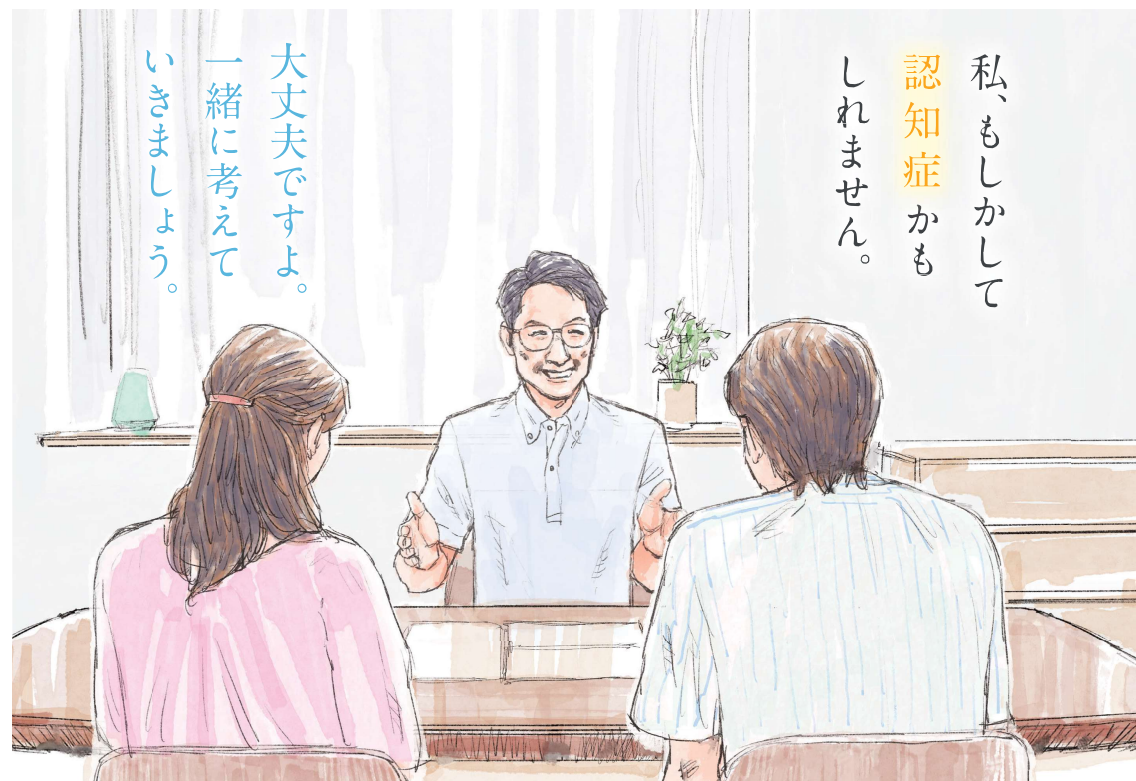
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館シズウエル 4階



認知症とともに 働き続けるために



若年性認知症支援コーディネーターが就労継続を支援します



大丈夫ですよ。
一緒に考えて
いきましよう。

私、もしかして
認知症かも
しれません。

「若年性認知症」とは

65歳未満で発症する認知症を「若年性認知症」と言います。社会や家庭で重要な役割を担っている働き盛りでの発症となるため、仕事や家事に支障が生じるなど、高齢者が認知症を発症した場合は異なる経済上・日常生活上の問題が生じます。しかし、早期診断・早期対応により、症状を改善するだけでなく、適切なケアを受けることができるようになります。

静岡県
(受託者)一般社団法人静岡県社会福祉士会

自分らしく暮らし、 社会で活躍していくために

「若年性認知症」と社会の関わり

認知症の多くは、ある日突然発症するものではなく徐々に顕在化してくるものです。そのため、早期に適切なサポートがあれば仕事を続けていくこともできます。



気づき

就労継続に
向けて

退職を
考えた時

福祉的
就労

若年性認知症支援コーディネーターの支援例

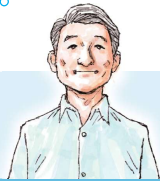
- 医療機関受診支援 (認知症サポート医・認知症疾患医療センター)
- 本人の働きたい気持ちを確認
- 家族の気持ちを確認
- 就労継続に向けた企業への同行訪問
- 医療費助成制度・自立支援医療 (精神通院医療) の紹介
- ハローワークへの相談
- 障害者就業・生活支援センターへの相談
- 経済的支援制度・精神障害者保健福祉手帳・傷病手当金 (健康保険)・障害年金・失業給付 (雇用保険) の紹介
- 退職後の生活支援
- 障害相談支援事業所への相談
- 軽作業を行うデイサービスの紹介
- 家族会・認知症カフェの紹介



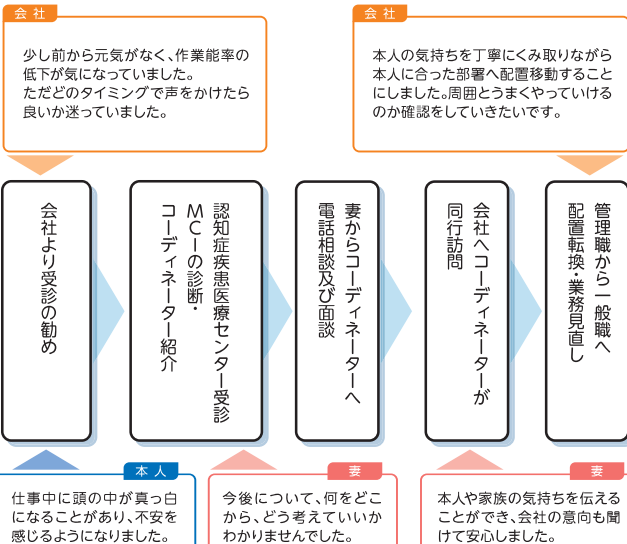
例 1

住宅ローンの返済があります。
今の仕事を辞められません。

- Aさんの場合
- 50代後半/男性/家族と同居 基礎疾患なし
 - 診断名:軽度認知機能障害 (MCI)



経過と支援



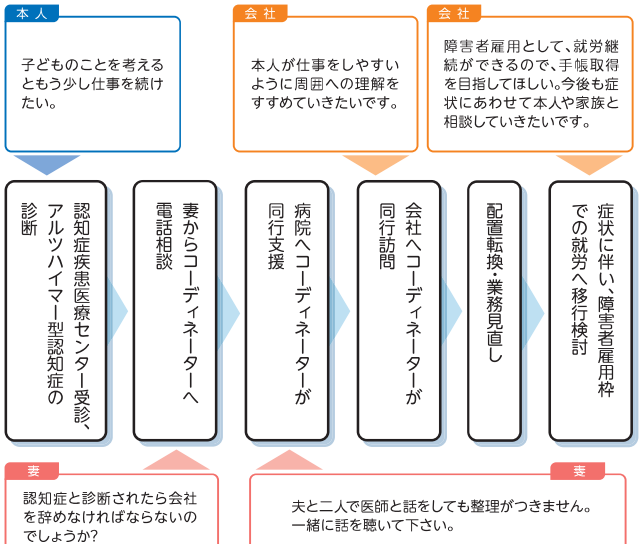
例 2

仕事が大変で退職も考えました。
でもこれなら続けられそう。

- Bさんの場合
- 50代後半/男性/家族と同居 基礎疾患なし
 - 診断名:アルツハイマー型認知症



経過と支援



例 3

働ける。まだまだ働ける。

- Cさんの場合
- 40代後半/女性/独居 基礎疾患なし
 - 診断名:アルツハイマー型認知症



経過と支援

